大分南警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和7年3月12日（水）

第2 出席者

協議会 委員 11名
警察署 署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、
湯布院幹部交番所長、大南幹部交番所長、刑事課長、交通課長、
警備課長 11名

第3 議事の概要

1 管内概況等の説明

警察署から、

- ・管内情勢、業務推進状況

について説明がなされた。

2 諮問事項に対する答申

(1) 犯罪被害防止対策

ア 特殊詐欺等被害防止対策

被害防止のための抵抗力を身につけてもらうため、まもメールや各種会合における講話、警察官による巡回連絡、民生委員等高齢者世帯を訪問する団体と連携するなど、効果的な対策を検討しながら、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の手口や被害状況について広報活動を積極的に行う。

イ 自転車盗被害防止対策

学生が被害者となるケースが多いことから、学校における防犯講話を積極的に行う。また、被害が多発する場所の自治会に対し、防犯カメラの設置を働きかけるほか、駐輪場利用者に対して鍵をかけるように声を掛けるなど、被害に遭いにくい環境の醸成に努める。

(2) 交通事故防止対策

ア 横断歩行者の交通事故対策

横断歩行者等の妨害違反の取締りのほか、歩行者に対しても交通ルールマナーを守らせる啓発活動に努める。

イ 道路環境対策

適切な道路標識、道路標示の設置等に十分配慮し、道路環境の整備に努める。

(3) 警察官技能向上方策

定期的に経験者からの伝承教養等を行うとともに、実践的な訓練を継続的に行う。

3 質疑・要望等

委員から、

「自転車は左側通行のはずだが、自転車道では右側通行をよく見かける。その際、同じ自転車道を左側通行する自転車とぶつかりそうになるのを見かけることがある。これは違反ではないのか。指導することはできるのか。」

旨の質問がされたので、警察から、

「法律上、歩道と自転車通行可の共有する場合は、道路の右側にある自転車通行可の場所を自転車が通行しても違反とはならないが、マナーを守ってもらうことが大事なので、あらゆる機会を通じて啓発していきたい。」

旨の回答を行った。また、委員から、

「冬の時期は、日没が早い上、学生服等は黒っぽい制服が多く、自転車や歩行者を発見しにくいので、反射材をつけたりしてもらいたい。」

旨の要望がされたので、警察から、

「学校での講話を積極的に行い、反射材の着用等、周りから発見されやすい姿での登下校等を要請したい。」

旨の回答を行った。